



## 友情

苏 美 霞  
SU MEI XIA

私は中国の大連に生まれて、大連で育ちました。日本へ来る前に遠方に行ったことはありません。周囲の友達が日本から帰ってきて色々、新鮮な話をしてくれました。「空が澄んでいて空気がおいしい」「食べ物が安全でおいしい」など日本の環境の良さに行きたいと思う反面、とても行くには、不安でした。しかし、千回の迷いより一回の実戦をしたほうがいい、一步踏み出す勇気がなければ永遠に今のもやもやした気持ちのまま。このような、葛藤の中、やはり日本へ行くことに決めました。

中国には「実家にいると両親が頼りなり、外出すると友達が頼りになります」との諺があります。日本へ来てからこの諺の意味を深く感じました。私は実習生として毎日8時間立ったままでプラスチック成形製品の検査をしています。去年、右足の指の爪が炎症を起こして、爪を抜かなくてはいけないことになりました。組合の先生が事前に病院の予約を取ってくれ、手術を連休中にすることになりました。当日、少し心細いので同室の由さんと孫さんが病院の付き添いをしてくれました。手術が無事に終わって、由さんが松葉杖代わりに私を支えて、孫さんが靴を持ってきて、足にできるだけぶつからないように注意深く靴を履かせてくれました。まだ麻酔が効いていて、右膝から下に感覚がなくて、痛くないのですがこの瞬間、涙がボロボ

ロ流れてきました。ごく普通の行動にみえるかもしれませんが彼女達の思いやり、彼女達から友情に感動しました。

宿舎に戻ってから二人は本当にかゆいところに手が届いてくれました。足の爪の手術のせいで私の行動が不自由になりました。二人がご飯を食べさせてくれたり、洗濯をしてくれたり、部屋の掃除をしてくれたりしました。そして回復するまで何回も病院への付き添いをしてくれました。

私は自分の考え方を表すのが苦手な人です。しかし二人がしてくれることをすべて見ていますし、感じていました。人は病気になると一番弱気な時ですが、彼女達が家族のような存在で私の弱い心を温めてくれました。一緒に仕事と生活ができて、本当に幸せです。

世話をしてくれる人がいると味が無い水でも甘く感じます。思ってくれる人がいると長い夜でも短く感じます。愛情があると寒い日でも暖かく感じます。

感情を表に出すのが下手な私なので、得意な料理を二人に振舞い感謝の表現をしました。二人は、とても喜んで食べてくれました。

日本に来て、彼女達に出会って良かったです。私たちは3年間を一緒に暮らすことは長いと言えば長いし、短いと言えば短いです。私たちの友情は時とともに醸造した酒のような香りと深い味わいが醸し出せるような関係を続けて行きたいです。

日本のおいしい空気と食事を嗜みながらこれからもずっと。

国	籍	中国
職	種	プラスチック成形
実習実施機関		テイ・エステック株式会社
監理団体		ELC事業協同組合